

## 臨床研究に関する情報公開について

西暦 2020 年 1 月 6 日 Ver. 1

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問合せなどがある場合には、以下の「問合せ先」へご照会ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名：	血友病患者の外来リハビリテーションの処方基準と今後の課題
実施診療科：	医療法人財団荻窪病院 リハビリテーション室
研究期間：	西暦 2020 年 1 月 8 日～西暦 2020 年 6 月 30 日
研究目的と意義：	当院で外来リハビリテーションを複数回実施した血友病患者さんの関節機能や運動機能、活動量などを明らかにして医師が外来リハビリテーションを処方する基準を検証します。また、患者さんの血友病性関節症の進行予防、ADL 維持・改善、QOL 低下予防のために今後どのような取り組みが必要となるかを検証します。
研究内容：	<p>●対象となる患者さん 2017 年 4 月 1 日～2019 年 9 月 30 日の期間に理学療法士による外来リハビリテーションを受けた患者さん</p> <p>●利用するカルテ情報</p> <p>①患者背景：年齢、職業、疾患、疾患の重症度、インヒビターの有無、定期補充療法実施の有無、自主トレーニング実施の有無、外来リハビリテーションの介入回数</p> <p>②検査データ：関節レントゲンの評価結果（Arnold-Hilgartner のステージ分類）</p> <p>③理学療法評価： HJHS の評価結果</p> <p>●研究方法 カルテから情報を収集します。</p>
問合せ先：	<p>【研究責任者】 理学療法士：織田 聡子 医療法人財団荻窪病院 リハビリテーション室 住 所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 電 話：03-3399-1101 (代表)</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（本研究に関する相談窓口） 窓 口：織田 聡子（理学療法士） 電 話：03-3399-1101 (代表) 受付時間：月～金 8：30～17：00（土・日・祝・祭日を除く）</p>

医療法人財団荻窪病院病院長